



施工完了 チェックシート

確認日	年 月 日
確認者	

1□から8□を



◆施工完了後は、必ず以下のポイントをチェックしてください◆

1□

クイックファスナーを 正しく取り付けられていますか

- クイックファスナーが確実に固定されていること。
- 給水ホースが回らないように持ち、クイックファスナーが軽く回ること。
- 給水ホースを引っ張っても抜けないこと。



折り曲げる

軽く回ること

* クイックファスナーが正しく取り付けされていないと水漏れが発生するおそれがあります。再度、取り付け手順に従ってください。

2□

止水栓を開けていますか

- 水道の元栓を閉めた場合は開けてください。
- 十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります。

3□

水漏れしていませんか

- 水漏れがないか必ず確認してください。
- 水漏れしている場合は、必ず止水栓を閉め、再度正しく接続してください。


4□

電源が入っていますか

- 電源ランプが点灯していることを確認してください。

5□

泡コートしましたか

- 洗剤補充後、必ず本体操作部の  を押してください。

6□

リモコン、ひとセンサーを 正しく取り付けられていますか



- 直射日光や他の機器の熱の影響を受けやすい場所への取り付けは避けてください。
- リモコン、ひとセンサーは赤外線で信号を送信しています。天井との間に棚などの障害物がないか確認してください。

7□

着座センサーは 正常に働きますか

- ポリ袋など便器にはさむ。
- 便座の左後部を押し、「カチッ」と音がするのを確認してください。着座ランプが点灯します。

点灯

便座の左後部を押しながら、リモコンの  または  を押し、洗浄水が上に出ることを確認してください。

ここを押す

ポリ袋など

電源ランプ

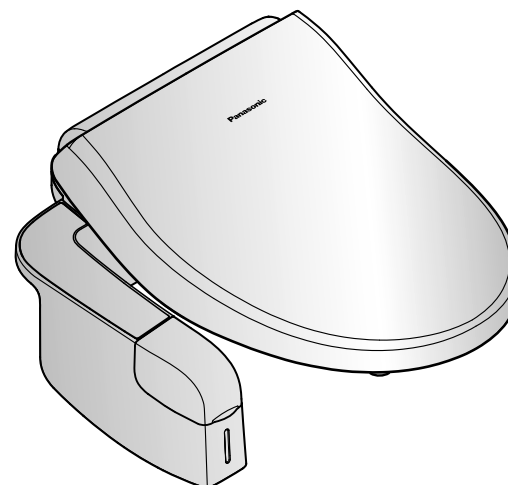
8□

取付ボルトがゆるんで いませんか

- 取付ボルトのナットは、同梱の締め付け工具でしっかりと締めてください。

配管方法などはイラストと異なる場合があります。

ビューティ・トワレ



品番

DL-AWM600
DL-AWM400
DL-AWM200

温水洗浄便座 家庭用

施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に「安全上のご注意」【P.2】は、施工前に必ずお読みください。

- 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
- 施工完了後、施工説明書はお客様にお渡しください。
- 施工説明書のイラストはDL-AWM600で説明しています。

パナソニックホームページで
取り付け手順を動画で公開しています。

panasonic.jp/toilet/

ページ

1	●安全上のご注意	2	準備
	●施工の前に	3	
	●各部の名前と同梱部品の確認	4	
2	●施工の流れ	6	施工
	●止水栓を閉める	8	
	●分岐金具（給水ホース付き）を取り付ける	9	
	初めて温水洗浄便座を取り付ける場合		
	既設の温水洗浄便座から取り替える場合	10	
3	●本体を取り付ける	12	取付
	●給水ホースを本体に取り付ける	13	
	●アース線の接続	14	
	●止水栓を開ける	14	
	●クッションを取り付ける	14	
	●リモコンを取り付け、電源を入れる	15	
	●ひとセンサーを取り付ける	16	
	●洗剤を入れる	18	
4	●試運転	20	試運転
5	●施工業者様へのお願い	22	確認
	（洗剤タンク内の水洗いと泡通路の洗浄）		
	●こんなときは	23	
	●施工完了チェックシート	裏表紙	

パナソニックハウジングソリューションズ株式会社
水廻りシステム事業部


〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地
© Panasonic Housing Solutions Co., Ltd. 2018-2024




ADL944PZHAC4
CS0418-41224

安全上のご注意

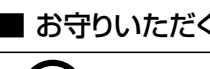
人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。


**警告**

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。


**注意**

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。


**お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。**




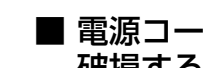
してはいけない内容です。

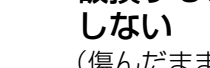


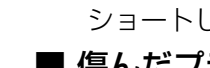
実行しなければならない内容です。

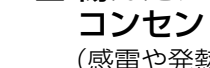
**警告**

**電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない**
(傷んだまま使用すると、感電やショートして火災の原因)

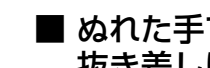
**傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しない**
(感電や発熱による火災の原因)


**ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない**
(感電の原因)

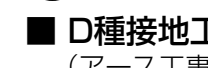
**上水道以外には接続しない**
(ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こす原因)
(腐食や異物付着による水漏れの原因)

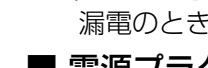
**電池は誤った使い方をしない**

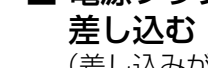
- ⊕ と ⊖ を逆に入れない
- 新・旧、電池や違う種類の電池を一緒に使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない
(液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因)

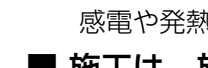
**バスルーム内など湿気の多い場所には設置しない**
(感電や火災の原因)

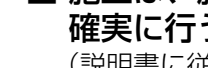
**D種接地工事を行う**
(アース工事がされていないと、漏電のときに感電する原因)

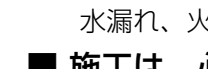
**電源プラグは根元まで確実に差し込む**
(差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因)


**施工は、施工説明書に従って確実に行う**
(説明書に従って行わないと、水漏れ、火災、感電の原因)

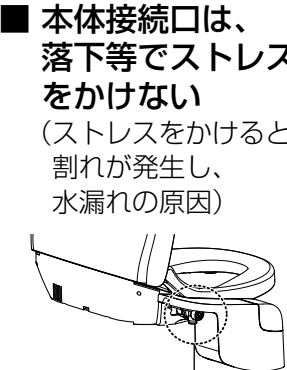
**施工は、必ず同梱部品および指定の部品を使用する**
(指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電の原因)

**電気工事は、内線規程に従って施工する**
(内線規程に従わないと、火災、感電の原因)


**定格15 A・交流100 Vのコンセントを単独で使う**
(他の機器と併用すると、発熱による火災の原因)


**コンセントのアース端子にアース線を取り付ける**
(アース工事がされていないと、漏電のときに感電する原因)

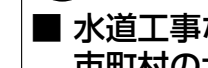
**本体接続口は、落下等でストレスをかけない**
(ストレスをかけると割れが発生し、水漏れの原因)



本体接続部

**給水ホースを折り曲げたりつぶしたりして施工しない**
(給水ホースに亀裂が入り水漏れの原因)

**水道工事などは、市町村の水道条例に基づいて行う**
(条例に基づいて行わないと、水漏れの原因)

**移動や施工時、本体を持つ**
(便座・便ふたを持つと本体から外れ、けがをする原因)

施工の前に

- お願い

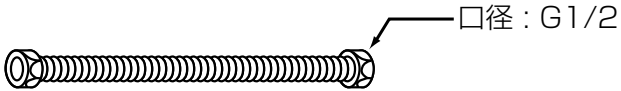
- 本体の取り付けが完了するまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください。故障の原因となります。
 - 本体内の残水が凍結している場合は、本体を暖かい部屋に放置し、残水がとけてから施工してください。
 - 必ず同梱の本体固定板をご使用ください。(泡コートができなくなります)
 - 必ず同梱の給水ホース分岐金具付をご使用ください。
 - 既設の温水洗浄便座から取り替える場合は、既設のひとセンサーやリモコンは必ず取り外してください。(干渉して誤動作します)
- お知らせ

- この商品は水道水を使って検査をしています。商品を取り出す際に多少の水滴が出る場合がありますが、故障ではありません。
 - 使用水压範囲は49～735 kPa{ 0.5～7.5 kgf/cm² } です。
 - 本体は2本の取付ボルトと、前の片側の脚ゴムの3点で支える構造です。便座が浮いた状態で、便座の強度に問題ありません。【P.21】
 - 便器の種類によっては、便座脚ゴムが便器の上に載らず、がたつく場合があります。販売店にご相談ください。
 - 既設の便器がアラウーノV便器、下からナット締めできない便器の場合は別売の上面施工ボルトセットが必要です。販売店でご購入ください。【P.12】

給水管の長さの確認

- ①

フレキシブルパイプで接続する場合は、購入が必要です。
A寸法に合った下表の部材を購入してください。



- ②

既設の給水管を使用して接続する場合は、給水管の切断が必要です。【P.11】

- ①

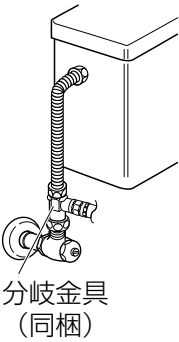
別売品またはホームセンターなどで市販品を購入してください。

	フレキシブルパイプの長さ	品番
別売品	250 mm	AD-HS25BA ☆
	300 mm	AD-HS30BA ☆
	350 mm	AD-HS35BA ☆
	400 mm	AD-HS40BA ☆
市販品	400 mm以上	A寸法の市販品を購入してください。

☆は、システム部材開発センター扱い(別売品)です。
別売品の品番は変更されることがあります。

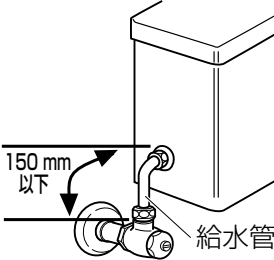
- ②

フレキシブルパイプの設置例



- ③

A寸法が約150 mmより短い場合、給水管が外れない場合、給水管に専用のストレーナー(フィルタ)が付いている場合は、P.9を参照してください。



リモコン、ひとセンサー取付位置の確認

リモコン、ひとセンサーを取り付ける位置は、P.15～17を参照してください。

ご準備いただくもの



各部の名前と同梱部品の確認

施工方法によっては、パッキンなど、使用しない部品があります。

フレキシブルパイプ（給水管）を使用する場合
*別売品または市販品を購入してください。

① 給水ホース分岐金具付
（長さ:950 mm）
分岐金具
給水ホース

② パッキンセット
（①の部品袋に同梱）
パッキン3個
スリップワッシャー1個（白）
↑ P.11の
既設の給水管を使用する場合のみ使用

③ クイックファスナー
（①の部品袋に同梱）

④ 取付ボルトセット

⑤ 締め付け工具

【パッキン使用箇所】
パッキン厚さ
2 mm×1（青）
4 mm×1（黒）
2.5 mm×1（黒）

【本体裏面】
便ふた
ロータンク
本体固定板【P.12】
●本体裏側に取り付けられています。
着座センサー（内蔵）
アース線（本体背面）
便座
分岐金具
止水栓
電源プラグ
アース線
【本体接続口】
本体操作部
洗剤タンク（内蔵）
洗剤タンクふた【P.18】

警告

■ 分岐金具接続時にシールテープを使用しない
（シールテープがパッキンに挟み込み水漏れのおそれあり）

■ 同梱のパッキン、クイックファスナーを使用する
（取り付け忘れや、他の部品で接続すると重大な水漏れのおそれあり）

お願い ● 施工後は締め付け工具を必ずお客様にお渡しください。

⑥ 説明書セット
（取扱説明書・施工説明書）

⑦ 泡コート操作ガイド

⑧ クッション【P.14】
（DL-AWM600/400のみ）
●ひとセンサーセットに同梱

＜リモコン用＞

⑨ リモコンセット
リモコン
リモコンホルダー
リモコンホルダーはリモコンにセットされています。

⑩ 取付ねじセット
樹脂プラグ 2個
ねじ 2個

⑪ 乾電池セット
単4形アルカリ乾電池 2個

＜ひとセンサー用＞

⑫ ひとセンサーセット
ひとセンサー
ひとセンサーホルダー
両面テープ
ひとセンサーホルダーはひとセンサーにセットされています。

⑬ 取付ねじセット
樹脂プラグ 2個
ねじ 2個

⑭ 乾電池セット
単4形マンガン乾電池 2個

お知らせ
●操作音について（本体から音がします）
「ピッ」 → 各スイッチを押したとき、ひとセンサーが入室を検知したとき
「ピー」 → 停止スイッチを押したとき、各スイッチの「切」設定時
「ピピピ」 → 操作を受け付けないとき（洗浄や乾燥スイッチ（DL-AWM600のみ）は着座しないと受け付けません）

⑩⑬の取付ねじセットは共用です。

【同梱部品】 同梱部品をチェックしてください。 ☒ チェック

番号	部品名	数量	チェック欄
①	給水ホース分岐金具付	1	<input type="checkbox"/>
②	パッキンセット （パッキン 薄い黒2.5 mm厚さ×1 パッキン 青2 mm厚さ×1 パッキン 厚い黒4 mm厚さ×1 スリップワッシャー（白）×1）	1	<input type="checkbox"/> （①の部品袋に同梱）
③	クイックファスナー	1	<input type="checkbox"/> （①の部品袋に同梱）
④	取付ボルトセット	1	<input type="checkbox"/>
⑤	締め付け工具	1	<input type="checkbox"/>
⑥	説明書セット 取扱説明書 施工説明書	1	<input type="checkbox"/>
⑦	泡コート操作ガイド	1	<input type="checkbox"/>
⑧	クッション （DL-AWM600/400のみ）	2	<input type="checkbox"/>

リモコン用	⑨	リモコンセット （リモコン リモコンホルダー）	1	<input type="checkbox"/>
	⑩	取付ねじセット	1	<input type="checkbox"/>
	⑪	乾電池セット（単4形アルカリ乾電池）	1	<input type="checkbox"/>

ひとセンサー用	⑫	ひとセンサーセット （ひとセンサー ひとセンサーホルダー 両面テープ）	1	<input type="checkbox"/>
	⑬	取付ねじセット	1	<input type="checkbox"/>
	⑭	乾電池セット（単4形マンガン乾電池）	1	<input type="checkbox"/>

【別売品】（サービスルート扱い）

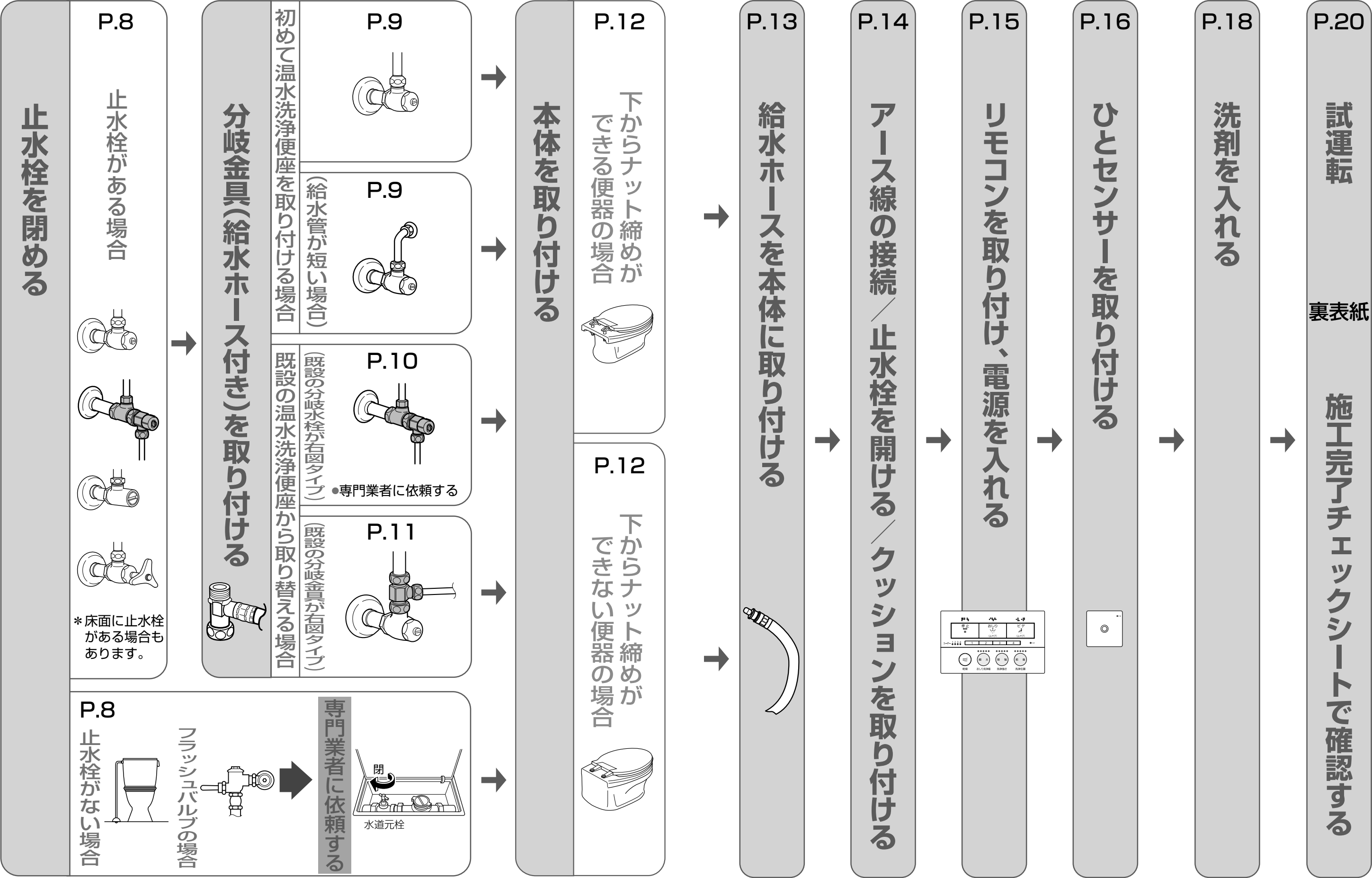
部品名	部品品番 ※	数量
別売分岐水栓・キャップセット 【P.9】 （分岐水栓 キャップカバー キャップA（大） パッキン大 黒2.5 mm厚さ×1 説明書）	ADL531A-B4JS	1

※部品品番は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
上記別売品は、配管の状態によって必要な場合があります。販売店でご購入ください。

準備

施工の流れ

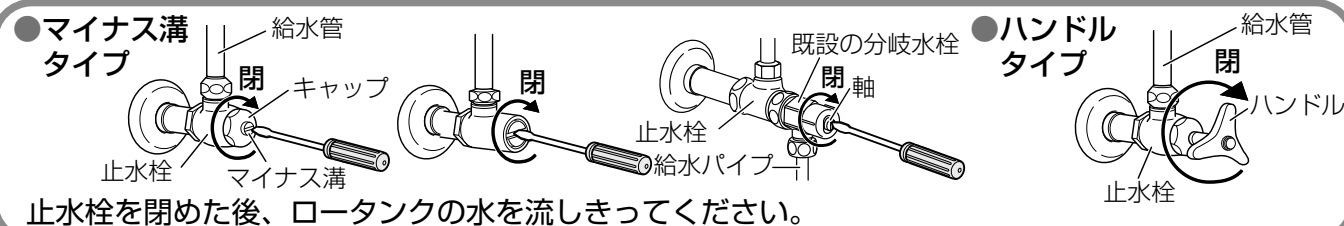
パナソニックホームページで
取り付け手順を動画で公開しています。
panasonic.jp/toilet/



施工

止水栓を閉める

■止水栓がある場合



P.9~11

分岐金具を取り付ける

■止水栓がない場合 → 施工については専門業者に依頼してください

分岐金具を取り付ける

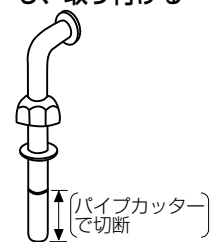
〈分岐金具の締め付け方〉
→ [P.9]

★は、同梱部品です。
☆は、システム部材開発センター扱い(別売品)です。
⊕は、サービスルート扱い(別売品)です。
別売品の品番は変更されることがあります。

寒冷地用の給水管(止水栓なし)から給水する場合

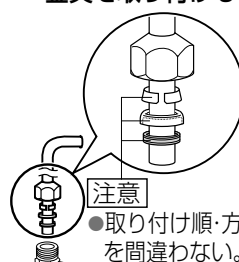
① 水道の元栓を開める

② 市販の給水管を手配し、取り付ける



分岐金具への差込は、約10mmを必ず確保する。

③ 市販の給水管に分岐金具を取り付ける



◎取り付け後、水道の元栓を開けてください。

フラッシュバルブから本体へ給水する場合

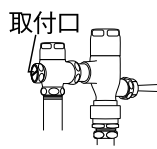
フラッシュバルブがリモコン式や和風便器式など、下記別売品では対応できない場合もあります。その場合は市販のアダプターなどの手配が必要です。

TOTO製の場合

① 水道の元栓を開める

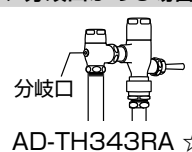
② 別売品のフラッシュバルブ用アダプター(接続金具)を取り付ける

- 右図のような取付口がある場合、アダプター(接続金具)は不要です。
- 取付口がない場合は、別売品のアダプター(接続金具)を取り付ける。



☆別売品：フラッシュバルブ用アダプター(接続金具)※
フラッシュバルブの形状などにより、使用するアダプター(接続金具)が異なります。

フラッシュバルブの止水栓に、分岐口がある場合



フラッシュバルブの止水栓に、分岐口が無い場合(止水栓の取り替えが必要)

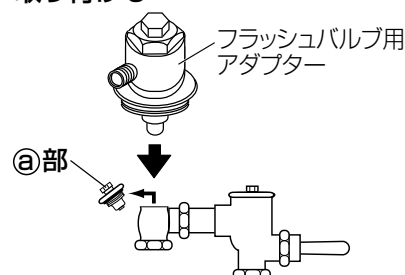
普通形フラッシュバルブの場合
AD-TH502-1RA ☆
節水形フラッシュバルブの場合
AD-TH347-1RA ☆

③ フラッシュバルブ用アダプター(接続金具)に分岐金具を取り付ける

LIXIL(INAX)製の場合

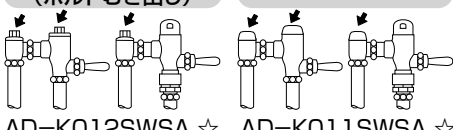
① 水道の元栓を開める

② ②部を外し、別売品のフラッシュバルブ用アダプター(接続金具)を取り付ける



☆別売品：フラッシュバルブ用アダプター(接続金具)セット

化粧カバーなしの場合(ボルトむき出し)



③ フラッシュバルブ用アダプター(接続金具)に分岐金具を取り付ける

- 別途、下記別売品の購入が必要です。
- ⊕別売品：キャップセット(品番：DL542A-Z6JSO)

詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

P.12

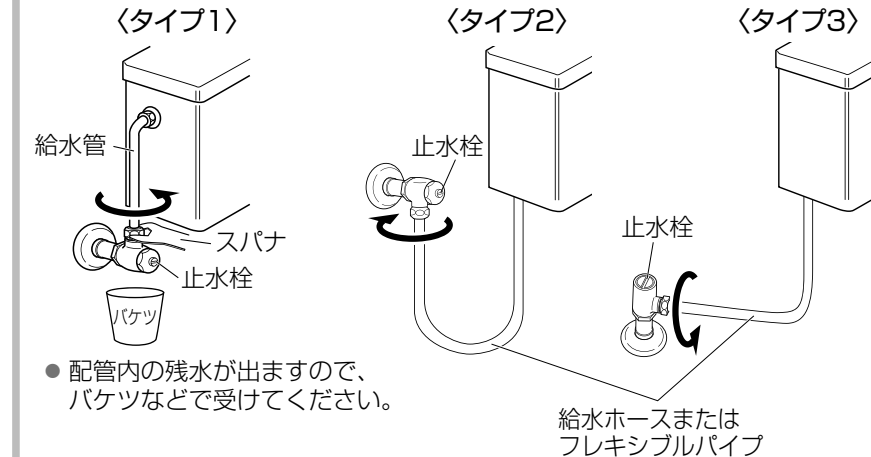
本体を取り付ける

初めて温水洗浄便座を取り付ける場合

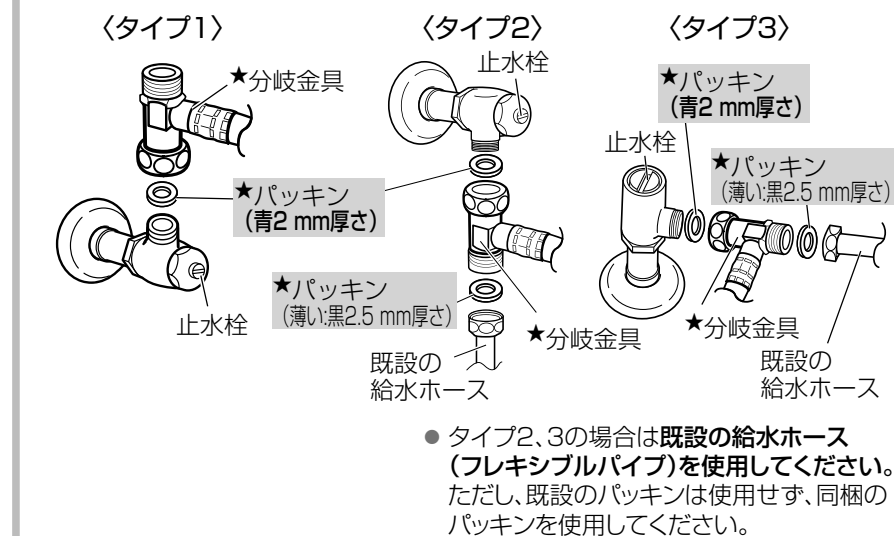
分岐金具(給水ホース付き)を取り付ける

★は、同梱部品です。⊕は、サービスルート扱い(別売品)です。

① 止水栓が閉まっていることを確認し、給水管(給水ホースまたはフレキシブルパイプ)を外す



② 分岐金具を止水栓に取り付ける
〈分岐金具の締め付け方〉→ 下記参照



〈タイプ1の場合〉

P.11

② 給水管の取り付け

〈タイプ2、3の場合〉

P.12

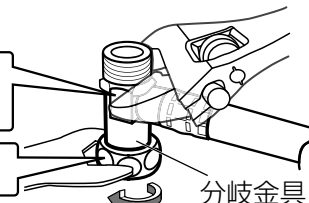
本体を取り付ける

〈分岐金具の締め付け方〉

回り止めのために「プライヤー・モンキーレンチ等」の工具でこの部分を固定する

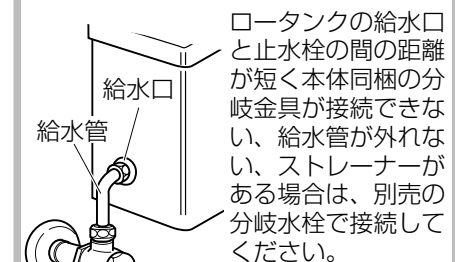
手で仮締めをし、スパナで締め付ける

締め付トルク：10~15 N・m(100~150 kgf・cm)
(指定場所以外を工具で固定したり、給水ホースを持って締め付けない)

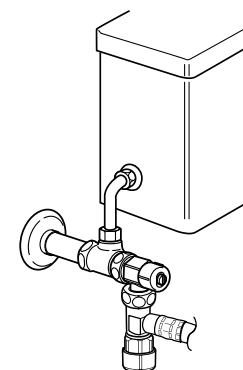


〈タイプ1〉において
給水管が短い場合、給水管が外れない場合、給水管にストレーナー(フィルター)がある場合(外ねじタイプの止水栓の場合は取り付け可能)

下記の別売品を販売店で購入してください。



参考図(接続後)



詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

P.12

本体を取り付ける

施工

既設の温水洗浄便座から取り替える場合 分岐金具（給水ホース付き）を取り付ける

●分岐水栓がタイプ①の場合は、止水栓を元に戻す必要があります。専門業者に依頼してください。

既設の分岐水栓が 下図のタイプ ①

止水栓 既設の分岐水栓 軸 温水洗浄便座用 給水パイプ

【準備】水道の元栓を閉める

- 元栓を閉める前にガス湯沸器や洗濯機などを使用中の場合は止めてください。
- 閉栓後は近くの蛇口などで給水が止まっていることを確認してください。
- 本体取り付け完了後、全開にしてください。

一般的なマンションの場合

メーターボックスの止水栓を閉める
水道メーターと一体になった元栓の場合

止水栓キーなどで閉める
埋込み式の元栓の場合

★は、同梱部品です。
②は、サービスルート扱い（別売品）です。

止水栓を元に戻す場合

- 給水パイプを外す
- 既設の分岐水栓を止水栓から外す
- 止水栓を元に戻す
- 止水栓が閉まっていることを確認し、給水管を外す
- 分岐金具を止水栓に、取り付ける
(分岐金具の締め付け方) → [P.9]

止水栓を元に戻せない場合 (外ねじタイプの止水栓の場合は取り付け可能)

別売分岐水栓・キャップセットを
購入いただき、取り付けができます。

＜別売品＞
別売分岐水栓・キャップセット
(品番：ADL531A-B4JS)

別売分岐水栓 1個
別売のキャップA (大) 1個
別売のキャップカバー 1個

パッキン (大) 1個
(黒2.5 mm厚さ)

パッキン 付き

説明書 1枚

- 別売品の分岐水栓を取り付ける
- 本体同梱の分岐金具を取り付ける

★分岐金具

★別売品のキャップA (大)

★別売品のキャップカバー

★別売品のパッキン (大) (黒2.5 mm厚さ)

詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

既設の分岐金具が 下図のタイプ ②

止水栓 既設の分岐金具 温水洗浄便座用 給水パイプ 軸

① 給水管を外してから、同梱の分岐金具に交換する (分岐金具の締め付け方) → [P.9]

給水管 既設の分岐金具 給水ホース 外す 止水栓 既設のパッキン

★分岐金具

★1 袋ナット締め付けの
ご注意

★パッキン (青2 mm厚さ)

※1 袋ナット締め付けのご注意

- 水漏れしないように袋ナットを最後まで確実に締め付けてください。また、強く締め付けすぎると、パッキンが切れ、水漏れすることがあります。

② 給水管の取り付け

●既に給水管がフレキシブルパイプや給水ホースで接続されている場合は、そのまま使用できます。

フレキシブルパイプを使用する場合

フレキシブルパイプを使用し、接続する。

←口径：G1/2

既設の給水管を使用する場合 給水管にストレーナー（フィルター）がある場合

- 給水管が短い場合は、専門業者にお問い合わせください。（市販の給水管等の購入が必要です）
- 分岐金具側に給水管を接続し、ロータンク給水口にあうような長さに給水管を切断。（フレア加工している場合は、切断長さに注意）
- 分岐金具への差込代は約10 mmを必ず確保する。

手洗いボール ロータンク

★パッキン (薄い黒2.5 mm厚さ)

★パッキン (厚い黒4 mm厚さ)

★分岐金具

止水栓

モンキーレンチ等で下から固定

袋ナット

※1 袋ナット締め付けの
ご注意

●ボールタップが回転しないようにしっかり持って袋ナットを締め付けてください。

●ボールタップが傾いて取り付けられると浮子がタンク側壁と干渉して止水不良の原因になります。

手洗いボール ロータンク

★パッキン (薄い黒2.5 mm厚さ)

★スリッパワッシャー (白)

★分岐金具

止水栓

モンキーレンチ等で下から固定

P.11

② 給水管の取り付け

P.12

本体を取り付ける

施工

10

11

本体を取り付ける

下からナット締めができる便器の場合

【準備】既設便座を取り外す

1. ナットをモンキーレンチなどでゆるめる。
2. ナットとパッキンを外し便座を取り外す。

(ナットがさびてゆるまないときは)
●市販のねじゆるめスプレー剤などでゆるめる。
●取れないときは、金のかてでボルトを切断する。

1 本体を取り付ける

1. 取付ボルトより各部品を取り外す。
2. 取付ボルトの頭を本体裏面にある本体固定板の溝に差し込む。
3. 取付ボルトが便器の穴に入るように本体を便器に載せる。各部品を図のように取り付け、ナットを手で軽く締める。
4. 本体を少し持ち上げながら位置調整をする。

2 本締めする

●ナットを同梱の締め付け工具で締め付ける。

(取付ボルトが長すぎる場合は金のかてなどで適当な長さに切断する)

下からナット締めができる便器の場合、下からナット締めができない便器の場合、共通

■便器のサイズにより、開いた便座や便ふたが倒れてきたり、便ふたがロータンクに当たる、すれる、着座検知しない等のときは
⇒本体脱着ボタンを押しながら本体を手前に引き出し、本体固定板の位置を少し手前に取り付け直す。

本体を外した裏面部

前側の脚ゴムが便器面から脱落しないこと

泡コートノズル

少し前に引き出して取り付ける

便ふたの後部

*小さい便器の場合、無理に本体を後ろまで押し込むと着座検知しない原因

本体が便器から脱着できる構造のため、少しがたつきが生じることがありますが異常ではありません。

本体を便器に施工後、本体を軽く手前に引っ張ってしっかり固定されていることを確認してください。

⓪は、サービスルート扱い（別売品）です。

下からナット締めができない便器の場合

下記別売品が必要ですので、ご購入ください。

⓪別売品 上面施工ボルトセット (品番: ADL55DWZHC1)

【準備】既設便座を取り外す

1. 固定ねじ2本をゆるめ、取り外す。

1 本体固定板を取り外す

本体裏面にある本体固定板を取り外す。

本体固定板は、必ず同梱部品をご使用ください。(泡コートができなくなる原因)

ノズル収納部は絶対に押さないでください。(ノズルが出なくなる原因)

本体脱着ボタン (グレー色)

●本体脱着ボタンを奥までしっかり押し込みながら、本体固定板を取り外す。(①、②、③の順に矢印方向にずらし、取り外す)

2 本体固定板を取り付ける

1. 別売の上面施工ボルトセットで本体固定板を便器に仮締めする。

⓪別売品の固定ねじ (M6×50 mm)

⓪別売品の取付固定具

⓪別売品の上方固定ゴムナット (穴に圧入)

本体固定板

3 本体を取り付ける

1. 本体固定板の中心と本体の中心を合わせる。
2. 便器面から本体をすべらせ「カチッ」と音がするまで押し込む。
泡コートノズルは絶対に押しついたり、衝撃を加えないでください。(左図)

●電源コードをはさみ込まないようにしてください。

4 本締めする

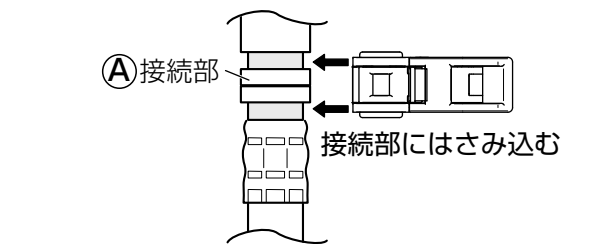
●本体脱着ボタンを押しながら本体を手前に引き出し、固定ねじをプラスドライバーで締め付ける。

給水ホースを本体に取り付ける

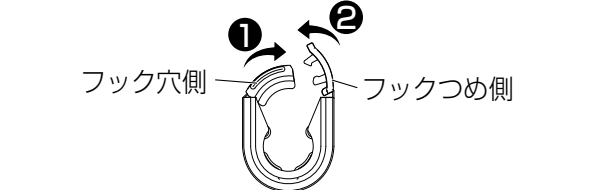
重要：給水ホースを正しく取り付けないと重大な水漏れの原因

- 1 本体への接続** (作業がやりにくい場合は、本体を手前に引き出す【P.12】)
1. 給水ホースのOリング部にゴミがないことを確認し、本体接続口にまっすぐ差し込む。
- ご注意** 給水ホースをねじって差し込むと、Oリングが切れるおそれがあります。
- お願い** 既設の給水ホースは使用しないでください。(劣化により水漏れの原因)

2. クイックファスナーを給水ホースと本体接続部に確実に奥まで差し込む。(「パチッ」と音がするまで差し込む)



3. フックを確実に固定する
- ①フック穴側を折り曲げる
②フックつめ側をフック穴側に折り曲げ固定する (「パチッ」と音がするまで固定する)



4. 給水ホースが回らないように持ってクイックファスナーが軽く回ることを確認する。
*軽く回らない場合は、正しい位置に取り付けられていません。

お知らせ

給水ホースが短い場合は、別売品を販売店でご購入してください。

1300 mm用 AD-DL531-13A ☆
2500 mm用 AD-DL531-25A ☆

☆は、システム部材開発センター扱い(別売品)です。別売品の品番は変更されることがあります。

(別売品は、給水ホースと分岐金具が別々になっています。分岐金具側もクイックファスナーで接続するようになっています。)

- 2 必ず確認**
- クイックファスナーが確実に固定されているか確認してください。
●給水ホースを引っ張って、本体接続口から抜けないことを確認してください。

ご注意 先端にOリングが付いていることを確認すること

Oリング

本体接続口

お願い

●フックが閉じないときは、①接続部に確実に奥まで差し込まれていないため、再度クイックファスナーを差し込み直してください。

ご注意

●給水ホースは切断しない
●給水ホースに刃物など鋭利なもので傷を付けない
●本体接続口にOリングが咬み込まないようにまっすぐに差し込む

悪い接続例

*フックが確実に固定されていないとクイックファスナーが外れ、重大な水漏れの原因となります。

折り曲げる

見やすい位置に回してフックを固定する

軽く回ること

本体接続口

〈横から見た図〉

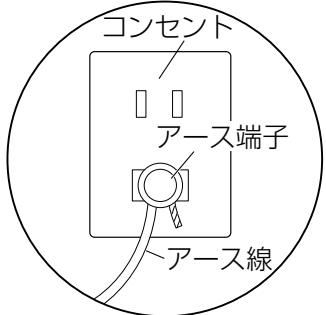
接続部の方向を変更できます (90°まで)

少し力を入れて方向を変えてください。

アース線の接続

必ずコンセント側へ接続してください

(アース付きコンセントでない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください)



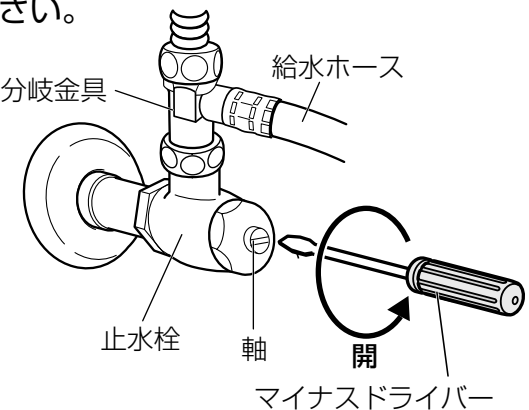
上図はアース付きコンセントの一例です。

止水栓を開ける

各接続部が確実に接続されていることを確認してください。

- 水道の元栓を閉めた場合は十分に開けてください。
- 手洗いボールから水があふれたり、飛び散らない程度にまたは、洗浄中の通水音が気にならない程度に止水栓の軸をゆっくり開けてください。

十分に開いていないと低流量異常 (ECONAVIランプと待機電力8時間切ランプが同時点滅) が発生する場合があります。

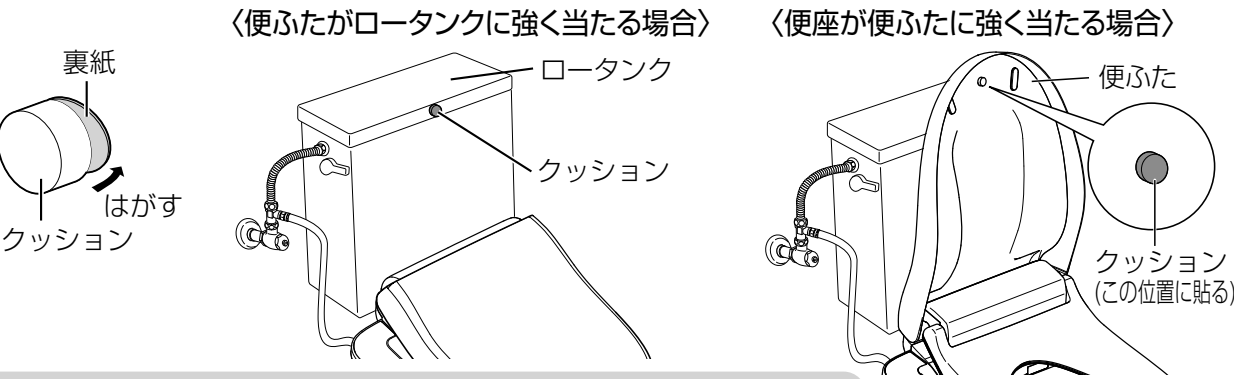


クッションを取り付ける

(DL-AWM600/400のみ)

便ふたがロータンクに強く当たる場合や、便座が便ふたに強く当たることを軽減するため同梱のクッションを下図を参考に貼り付けてください。

- 貼る前に、汚れ、水分などを拭き取ってから貼り付けてください。

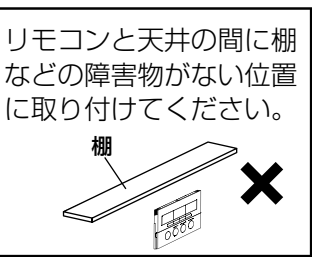
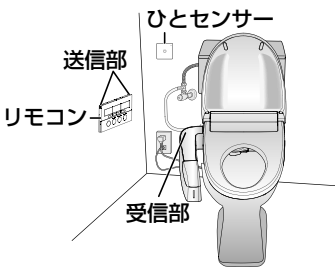


便ふたが勢いよく開き、バウンドする！ 便ふたが開ききらない！

- 便ふたを開く強さを変更することができます。
【取扱説明書 DL-AWM600→P.44 DL-AWM400→P.42】

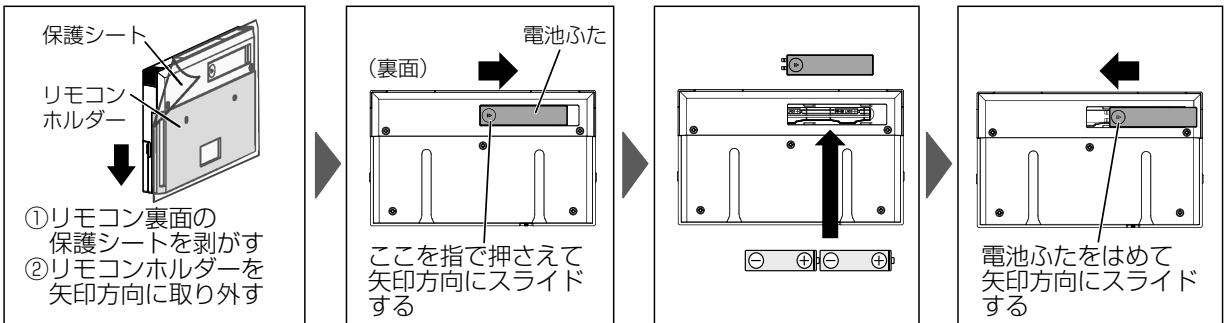
リモコンを取り付け、電源を入れる

- 本体の受信部側の壁などに取り付けることをおすすめします。黒い天井や壁などでは、リモコンからの送信を本体が受信しにくい場合があります。
- リモコンを固定する前にリモコンと本体が送受信していることを確認してください。



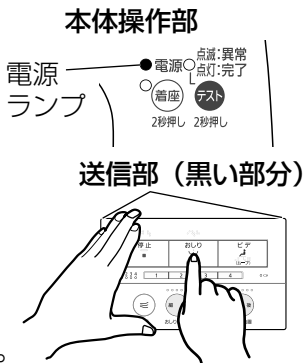
1 リモコンからリモコンホルダーを外し、電池ふたを開け、単4形アルカリ乾電池を入れる

■乾電池の破裂や液漏れを防ぐために安全上のご注意【P.2】を必ずお守りください。



2 電源プラグを差し込み、リモコンと本体の送受信を確認する

- ①電源プラグを差し込む
 - 本体の電源ランプが約10秒間点滅後、点灯する
- ②リモコンを壁面の取り付けたい位置に合わせ、約10分以内におしりまたはビデ洗浄スイッチを押す
 - 本体の電源ランプが1回点滅、着座ランプが3回点滅と同時に本体から「ピピピ」と音がします。(ただし、着座センサーが検知している場合は「ピッ」と音がします)



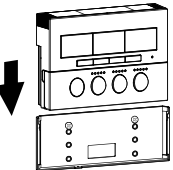
送受信可能な位置です。
◆電源ランプが1回点滅、着座ランプが3回点滅しない場合は、電源プラグを差し込み直して取り付け位置を変更してから再度、送受信確認をしてください。

3 リモコンホルダーを壁面にねじで取り付ける

A.ねじ止めできる壁材	B.ねじ止めできない壁材	ねじ止めできない場合
●各種合板 ●ビニルクロスなど	●タイル ●コンクリート ●石こうボードなど 「注意」※1	別売品のビューティ・トワレ用リモコンプレートでペーパーホルダーに取り付けできます。販売店でご購入してください。 別売品ビューティ・トワレ用リモコンプレート 品番：AD-DLRCP1-FA ☆
①ねじ2本で壁面に 取り付ける	①壁面に下穴をあけ、樹脂プラグを差し込む (直径 5.8 mm 深さ 35 mm) ②ねじ2本で壁面 に取り付ける	リモコンホルダー

※1 石こうボードの厚みは13 mm以上を想定しています。13 mm以下の石こうボードでは同梱の樹脂プラグでは安定しない場合があります。市販の石こうボード用プラグをお買い求めください。

4 リモコンホルダーにリモコンを差し込む



詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください
2連式のペーパーホルダーには取り付けできません。

取付

ひとセンサーを取り付ける

ひとセンサーの検知範囲について

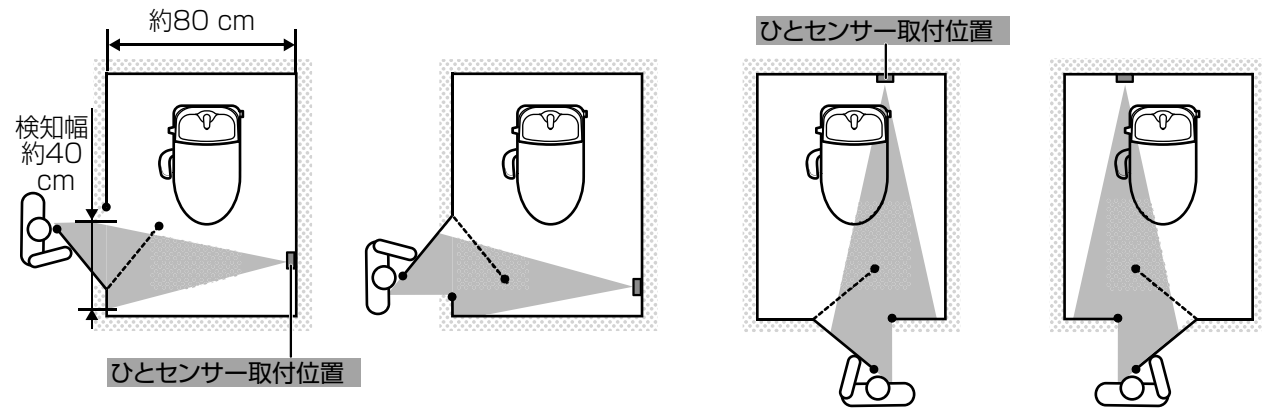
- ひとセンサーは人(発熱体)の動きを検知し、便座の瞬間暖房への通電(全機種)と便ふたの開閉(DL-AWM600/400のみ)を自動で行います。

〈トイレのパターン別、取付位置例〉

- ひとセンサーを正しく作動させるために、トイレ内に入った時、人を確実に検知する位置に取り付けてください。ひとセンサーが人を検知すると本体から「ピッ」という受付音がします。
- ひとセンサーと天井の間に棚などの障害物がない位置に取り付けてください。
- ひとセンサーを便座の方向に向けて取り付けると誤作動する場合があります。

扉の対向面の壁に取り付けてください。(扉が引き戸の場合も同様)

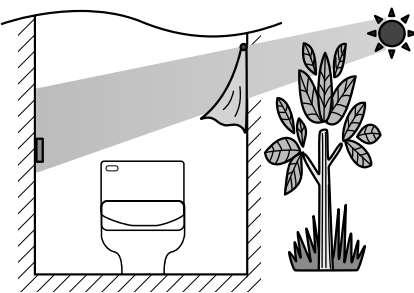
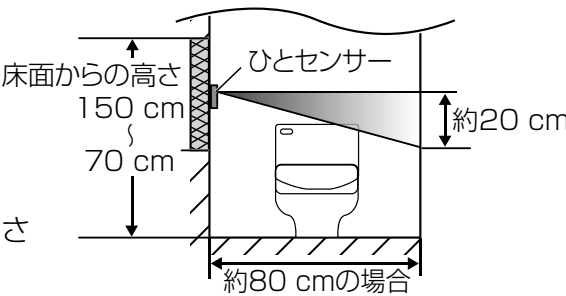
- トイレの幅が約80 cmの場合、ひとセンサーの検知幅は約40 cmになります。



取り付け高さの目安 (どのパターンでも共通です)

- 取り付けるのに適した範囲です。
- ひとセンサーの検知範囲の目安です。

- ご使用になる方の身長に合わせて、取り付け高さを決めてください。



ご注意 次のような場所に取り付けるのは避けてください。

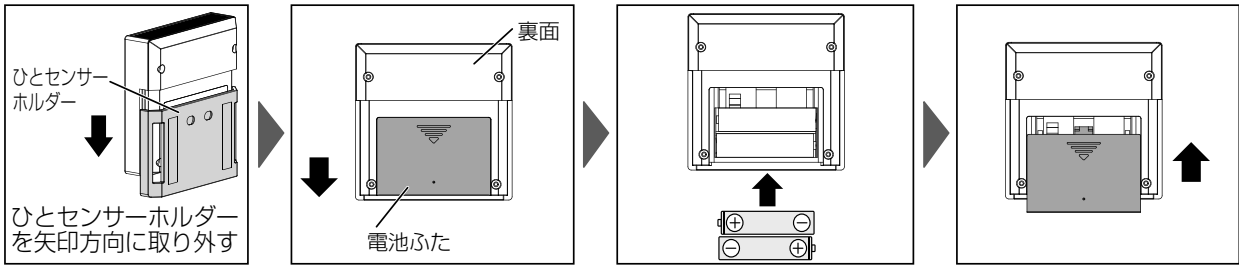
- 直射日光の当たるところに取り付けた場合、カーテンや窓の外の木々の揺れで、直射日光がさえぎられると、誤作動することがあります。

お知らせ

- ひとセンサーが人を検知すると、便ふたを自動で開きます。(DL-AWM600/400のみ)室温が30℃を超えたり直射日光が当たったりすると作動しないことがあります。(人と周囲の温度差が少ないときは、熱の変化を検知しにくい)
- トイレで暖房器具などを使用すると、ひとセンサーが温風の熱を検知して誤作動することがあります。

1 ひとセンサーからひとセンサーホルダーを外し、電池ふたを開け、単4形マンガン乾電池を入れる

■乾電池の破裂や液漏れを防ぐために安全上のご注意【P.2】を必ずお守りください。



2 ひとセンサーと本体の送受信を確認する(位置決め)

DL-AWM600/400の場合 (便ふたの自動開閉機能付き)

- リモコンの自動開閉スイッチが「入」になっていることを確認する
- 便ふたを閉じ、一旦トイレから外に出る
- 3分以上経過後、トイレに入り、便ふたが開くと同時に、便座あたためランプが点滅して点灯に変わることを確認する(ただし、便座の温度が約27℃以上の場合は点滅せずに点灯)

DL-AWM200場合 (便ふたの自動開閉機能なし)

- 便ふたを開けて一旦、トイレから外に出る(便座の温度を下げるため)
- 3分以上経過後、トイレに入り、便座あたためランプが点滅して点灯に変わることを確認する(ただし、便座の温度が約27℃以上の場合は点滅せずに点灯)

お知らせ

- ひとセンサーが人を検知すると、本体から「ピッ」と音がします。

自動開閉
ランプ点灯

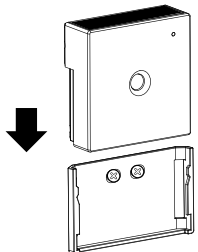
便座あたため
ランプ

3 ひとセンサーホルダーを壁面にねじで取り付ける

A.ねじ止めできる壁材	B.ねじ止めできない壁材	ツルツルで固い平らな壁材(タイル)
●各種合板 ●ビニールクロスなど	●タイル ●コンクリート ●石こうボードなど 「注意」※1	●壁に貼り付けた両面テープを剥がすと壁材を剥がすおそれがあります。 ●表面がザラザラした壁面や凹凸がある面(クロスなど)に取り付けるとひとセンサーが落ちる場合があります。
 ①ねじ2本で壁面に 取り付ける	 ①壁面に下穴をあけ、樹脂プラグを差し込む (直径 5.8 mm 深さ 35 mm) ②ねじ2本で壁面 に取り付ける	 両面テープ (ひとセンサーホルダー裏面)

※1 石こうボードの厚みは13 mm以上を想定しています。13 mm以下の石こうボードでは同梱の樹脂プラグでは安定しない場合があります。市販の石こうボード用プラグをお買い求めください。

4 ひとセンサーホルダーにひとセンサーを差し込む



洗剤を入れる

洗剤について

使用できる洗剤
* 泡コート洗剤「アラウーノフォーム」(別売品)
(下記別売品を参照してください)

市販の台所用合成洗剤 (中性)

ボトルラベルの
液性/中性を確認する。

ただし、下記のような洗剤はおすすめできません。
● 合成洗剤でないもの(せっけん、天然由来)や、
界面活性剤成分が少ないものは泡立ちが悪く、
十分な効果が得られないことがあります。

ご注意

- 種類の異なる洗剤は混ぜないでください。(洗剤が反応して、動作不良や故障の原因)
- 古い洗剤は使用しないでください。(泡コートノズルが詰まる原因)
- 洗剤は薄めないで原液のまま入れてください。(泡量が少なくなる原因)

使用できない洗剤

- 酸性・アルカリ性・塩素系洗剤
- オレンジオイルを含む洗剤
- ジェルタイプの洗剤

台所用合成洗剤以外のもの

- トイレ用洗剤 ● お風呂用洗剤
- ハンドソープ・ボディソープ
- アルコール (消毒液、除菌液)
- 食洗機用洗剤 ● シャンプーなど


理由

- 洗剤の成分によっては動作不良や故障の原因になります。

別売品

- アラウーノフォーム フローラル
品番:CH395N (香り付き)
価格:オープン価格※1
- アラウーノフォーム
品番:CH399K (無香)
価格:オープン価格※1

ハイ・パーツショップ※2で
ご購入いただけます。



※1 オープン価格商品の価格は販売店に
お問い合わせください。

※2 ハイ・パーツショップとは、住宅設備の
消耗品を簡単にご注文いただける、
パナソニックが運営する宅配ネット
ショップです。

DL-AWM600/400の場合
必ずリモコンの便ふた自動開閉を「切」にしてください。
(予期しないときに便ふたが開閉する原因)

自動開閉 ランプ消灯

1 洗剤タンクふたを取り外し、洗剤タンクを取り出す
(洗剤タンクを取り外さずに洗剤を補充すると洗剤タンク収納部に洗剤がこぼれる原因)

図のように取り外す

洗剤タンクを引き上げる

洗剤タンク収納部

2 洗剤キャップを外し洗剤を入れる

つまみをつまむ

原液のまま
入れる

部品は外さない
こと

満ライン
以上
入れない

満

※3: Oリングを傷つけないでください。
(洗剤が漏れる原因)

3 洗剤キャップをはめ込む

洗剤キャップ

洗剤キャップの凸部と
洗剤タンク口の凹部を
合わせ、はめ込む

ご注意

- 取り外した洗剤タンクは、乳幼児の手の届くところに置かないで
ください。

お願い

- 補充のときには、ごみ・ほこりが入らないようにしてください。
- 洗剤がこぼれた場合は、拭き取ってください。

4 洗剤タンクを本体に戻す

洗剤タンクを本体に戻し、
洗剤タンクを押し込む

洗剤タンク装着後ここを押す
(カチッという音はしません)

本体ケースの底を手で支え、
洗剤タンクふたを取り付ける

上記部分を押さないで、
洗剤供給しない原因。

**5 水道元栓、止水栓が開かれてることを確認し、
本体操作部の 洗剤開始 を押す**

- モーター音がして、洗剤供給を開始します。(洗剤開始ランプが点灯)
- 泡コートノズルから水と泡が出て、約3分間で終了します。
(洗剤開始ランプが消灯) 動作の途中で音が大きく変化したり、
「ブシュ、ブシュ」音がしますが異常ではありません。

手順5の操作をしないと洗剤が本体に供給されず泡が出ません。

洗剤開始

泡

泡コートノズルが回転して
泡を噴出(2方向)

*イラストは
イメージです。

〈動作しない場合〉

→ 洗剤開始 を押したとき、「ピピピ」と音がし、動作しないときは、
本体固定板に本体が確実に取り付けできていない可能性があり
ます。再度、取り付け直してください。【P.12】

6 リモコンの 便器面コート または ハネ抑制 を押す【取扱説明書】

- 途切れず泡が出ることを確認してください。
十分でないときは再度、押してください。

泡が出ないときは、再度手順 4 ～ 6 を行ってください。

リモコンの
ふたを開けて

リモコンの
ふたを閉めて

弱 強

洗剤強さ

弱 強

**7 便器の大きさに合わせて
泡コートの噴出強さを調節する**

- リモコンのふたを開けて 便器面コート を押した後、
泡コートノズルが回転中に
リモコンのふたを閉めて 弱 強 の「弱」または
「強」を押すごとに噴出強さが変わります。

お願い

- 長期不在などで、使用しない場合は洗剤タンクの水洗いと泡通路の洗浄をしてください。【P.22】
- 洗剤キャップを開けたまま使用しないでください。
(洗剤の成分が変質して詰まる可能性があります)
- 洗剤タンクが空の状態では泡コート操作をしないでください。(故障の原因)

お知らせ

- 泡コートできる範囲は便器の種類、大きさにより異なります。
(便器の種類によっては、便器のふちなどに泡がかかり、便器面に泡が均一にかからないことがあります)
- 水質、室温、水道圧の変動により、泡立ちや泡残りが変わる場合があります。
(洗浄性能に影響しません。泡コート量や洗剤投入量を調節したい場合は取扱説明書を参照してください)

試運転

- 1 水道の元栓、止水栓が開いていることを確認する
(十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります)
給水接続部から水漏れがないことを確認する

- 2 本体梱包用のポリ袋などをはさむ
(便座と便器の間)

- 3 電源プラグが差し込まれていることを確認する

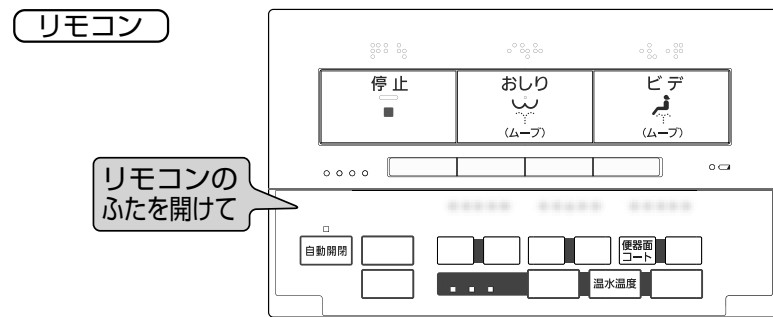
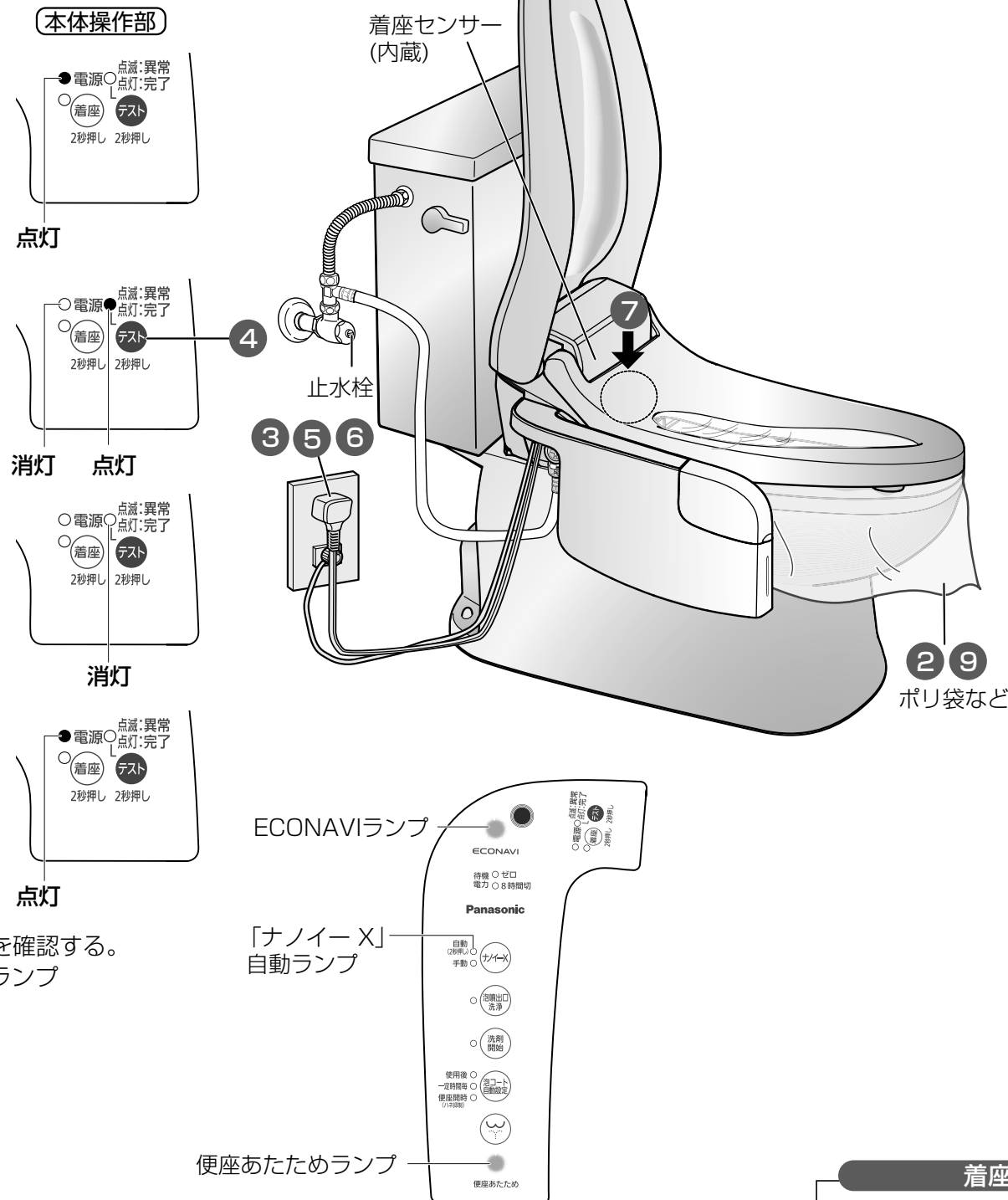
- 4 漏電テストスイッチを2秒以上押す
漏電検知機能が作動し、電源が切れます。
● 漏電テストランプ(赤)点灯。
● 電源ランプ(緑)消灯。

- 5 電源プラグを抜く
● 漏電テストランプ(赤)が消灯することを確認する。

- 6 電源プラグを差す
● 電源ランプが約10秒間点滅後、点灯に換わります。
● 便座あたためランプが点滅して点灯に換わります。
(便座温度が約27℃以上の場合、すぐに点灯)
● 便座に手を当て、あたたまっていることを確認する。
● ECONAVIランプ、「ナノイー X」自動ランプ (DL-AWM600のみ) が点灯。
● 脱臭が始まります。(作動音がします)

お知らせ

- 漏電テストランプが点滅する場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、工事店または販売店へ連絡してください。
- 便座の上から押さえると、着座ランプが点灯します。また、その状態で洗浄スイッチを押した場合、洗浄水が出ます。



- 7 便座の左後部を押しながら (着座ランプ点灯) リモコンの **おしり** または **ビデ** を押し
ポリ袋の上から手をあて温水が出ることを確認する
(温水が出ない場合は、リモコンの **温水温度** で設定温度を切り換えてください)
* 止水栓を閉じたまま手順 7 を行くと、洗浄水が出ず、ノズルが戻ります。止水栓を十分開いてから手順 7 を行ってください。
● 止めるときは **停止** を押す。(ノズルが戻りノズルを洗浄します)

〈便座の左後部を押さずに「おしり」または「ビデ」を押した場合〉
→着座検知しないと「ピピピ」と音がし、動作しません。
再度、手順 7 を行ってください。

- 8 取扱説明書に従って、おしり・ビデ洗浄など機能の確認をする
- 9 ポリ袋を外す

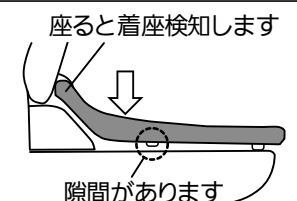
- 10 便座を開き、リモコンの **便器面コート** を押す
● 便器内面を泡コートノズルが回転しながら約15秒間泡コートを始めます。
● 途切れず泡が出ることを確認してください。十分でないときは再度、押してください。



- 11 リモコンの **自動開閉** を「入」にする (DL-AWM600/400のみ)

着座検知について

- 便座の後ろ脚と、前の片側の脚が浮いている状態が正常です。この浮き(隙間)がないと座ったときに着座検知しません。



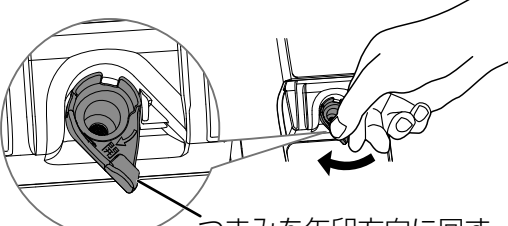
施工業者様へのお願い

マンションなどの設置で、当日、お客様へのお引渡しがない場合は、必ず洗剤タンクを水洗いし、泡通路を洗浄してください。（お客様が種類の異なる洗剤を混ぜたり、また1か月以上放置すると、洗剤が固着し、泡コートノズルが詰まる原因となります）

洗剤タンクの水洗いと泡通路の洗浄

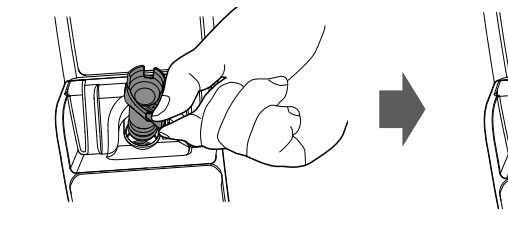
- ① 洗剤タンクふたを取り外し、洗剤タンクを取り外す P.18 手順①参照

② 洗剤フィルターを外して水洗いする



つまみを矢印方向に回す 上に引き上げ外す

③ 洗剤フィルターを本体に戻す



つまみを手前にし、押し込む つまみを矢印方向に回す

④ 洗剤キャップを外す P.18 手順②参照

⑤ 洗剤タンクの洗剤を別の容器に移し、水洗いする

⑥ 洗剤タンクに150 mL程度の水を入れ、洗剤タンクを元に戻す P.19 手順④参照

⑦ 泡通路を洗浄する

リモコンの **リズム切/入** と **ハネ抑制** を2秒以上押す

- モーター音がして、泡通路を洗浄します。（洗剤開始ランプが点滅）
 - 一連の動作は約6～7分間で終了します。（洗剤開始ランプが消灯）

* 泡が出続ける場合は、手順⑦を繰り返してください。




⑧ 洗剤タンクを取り出し、水を捨てる

⑨ 洗剤タンクを本体に戻し、洗剤タンクふたを取り付ける P.19 手順④参照

⑩ 泡通路の水を抜く

本体操作部の **洗剤開始** を押す

- モーター音がして、泡通路を洗浄します。（洗剤開始ランプが点灯）
 - 一連の動作は約3分間で終了します。（洗剤開始ランプが消灯）



再び泡コートを使用するには、P.18を参照してください。

こんなときは

現象	原因	処置	参照ページ
泡が出ない	洗剤補充後、「洗剤開始」を押していない	「洗剤開始」を押す	19
	洗剤タンクが本体に確実に装着されていない	P.19の手順④～⑥を再度行う	19
着座検知しない	無理に本体を後ろまで、押し込んで取り付けしている	本体を少し、手前に取り付けする	12
ECONAVIランプと、待機電力8時間切ランプが同時に点滅する	● 水道の元栓、止水栓が十分に開いていない	水道の元栓、止水栓を十分に開き、電源プラグを差し直し、その後、再度試運転を行う	14 20
	● 止水栓を開にする前に電源プラグをコンセントに差し込んだ		
洗浄水が出ない 洗浄強さが弱い	水道水フィルター（水抜き栓）が詰まっている	掃除する	取扱説明書
	水道の元栓が十分に開いていない	水道の元栓を全開にする	10
	止水栓が開になっていない	止水栓を十分に開く	14
	ロータンクに給水中	水が貯まるのを待つ	—
ロータンクに水が入らない、止まらない	ロータンク内の浮子がゆがんでいる	浮子がゆがまないように袋ナットを締め付け直す	11
手洗いボールから水はねする	水圧が高く給水量が多い	止水栓を適量に絞る	14
通水音（シュー）がする	給水ホース先端のOリングにゴミが付着	Oリングのゴミを取り除く	13
	ナットの締め付け力が不足	増し締めする	—
	締め過ぎによるパッキンなどのずれ	ずれをなくす	11
	クイックファスナーの差し込み不足やずれ	確実に固定する	13
	接続部から水漏れする	フックが固定されていない	
電源が入らない	漏電テストスイッチを押したなどで漏電検知機能が作動（漏電テストランプが点灯）	電源プラグを抜き、漏電テストランプが消灯後、電源プラグを差し込む	20
ひとセンサーが検知しない	● 人がいても体の動きがない	● 体を動かしてください（センサーは熱の変化を検知する）	16～17
	● 電池の入れ忘れ	● 電池を入れる	
天井までの仕切壁のない連なっているトイレで2台以上設置の場合、リモコンで操作したときに他の本体が誤作動する		販売店にご連絡ください	

施工後の注意 凍結するおそれのある場合や長期間（1週間以上）使用しない場合は、水抜きをしてください（取扱説明書「凍結予防のしかた・長期間使用しないときは」参照）

確認

22

23